

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### ① 各指標に対する取組

当所では、雇用支援機関としての役割を強化するとともに、長引く新型コロナウイルス感染症に対応するため次の取り組みを重点的に行いました。

- ・求人事業主からの職業紹介依頼や充足に向けた相談が多く、事業所からの問合せに質量ともに十分な対応ができていなかったことを踏まえて、令和3年4月から人材マッチングコーナーを本所求人者フロアに設置し、求人事業主からの相談対応及び求人・紹介窓口との連携を図り、充足件数及び就職件数の増加に取り組みました。（3年度実績：支援対象求人件数1,351件、紹介件数1,067件、就職件数345件）
- ・令和4年3月から非正規労働者の就職支援を総合的に実施するためワークプラザ天文館に女性等子育て就職支援、就職氷河期世代支援と合わせて若年者等のフリーター支援窓口を開設し、これまで以上にきめ細かい就職支援を展開しました。

#### ② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

当所では、中長期的な職員の育成を図る観点から、職業相談における各種事例を基に支援方法等を意見交換するケース会議の活用をはじめ様々な機会を活用して相談技法の向上に取り組みました。

また、3年度においては、コロナ禍に対応した「業種・職種を超えた再就職等の支援」を促進するため、職業訓練受講勸奨研修を年2回、訓練誘導に係る職業相談担当と訓練担当による意見交換会も年2回開催しました。求人者・求職者への正確な情報提供を行うため均等行政との共同研修についても年1回開催しました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

新型コロナウイルス感染状況から求職活動を躊躇する求職者の様子が見られ、また、職業相談窓口への積極的な誘導も行いづらい状況下を踏まえて、次のサービス改善・業務改善を行いました。

- ・職業紹介件数の増加、就職・充足件数を増加するため「求職者担当者制」の拡充に取り組み、マッチングの実施を主体とした能動的マッチングによる求人情報提供と求人担当者制求人や人材マッチングコーナーによる能動的マッチングを実施し、求人情報提供等による紹介率の向上に向けた業務の改善に取り組みました。

- ・高年齢求職者の増加が著しい状況を踏まえて、60歳以上の求職者に特化した生涯現役世代のためのセミナー「生涯現役就勝塾きばってやりもんそ」を8月から開始し、高年齢求職者に対する就職支援サービスの改善に取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響から来所が難しい方々のサービス支援策として、オンライン職業相談の周知案内を強化し、オンライン職業相談の他にも求職者・求人者向けセミナーを11回実施する等、オンライン活用の拡充を図り、ハローワーク利用者へのサービス改善に取り組みました。

### (3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

令和3年度の求職者に対する紹介率は78.4%と前年度に比べて5.1Pの減少となり、雇用保険受給資格決定件数の減少やコロナ感染状況によっては職業相談窓口への積極的な誘導が難しい時期が引き続き生じることを踏まえて、令和3年度に取り組んだ事項に加えて、就職件数及び充足件数の増加に向けて紹介件数を増やす（職業相談窓口誘導）ため次の2点を重点的に取り組むこととします。

- ・求職者担当者制においては、「予約相談」や「オンライン職業相談」のサービス支援を新たに追加したうえで、更なる求人情報の提供を行い紹介件数の増加に取り組みます。職業相談時は、求職者の希望条件と類似する求人の情報提供（プラス1サービス）を最重点に取り組み、紹介件数の増加及び求職者の就職意欲喚起を図ります。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響及び社会的なニーズが高まっているデジタル化の加速等のため、オンライン職業相談の窓口をこれまでの5窓口から個別支援を行っている全ての窓口（12窓口）へ拡充、求職者及び求人者マイページの登録促進によるオンラインハローワーク紹介の活用、デジタルサイネージ（電子掲示板）を活用した窓口誘導に取り組みます。

### (4) その他業務運営についての分析等

求人数が増加するなか、新規求職申込件数は微増となるも紹介件数及び就職件数は減少となり、求人者の採用計画とコロナ禍における求職者態様に乖離が生じています。理由としては、繰り返される新型コロナウイルス感染症の再拡大により、経済動向の先行きが見通せない状況が長期化しており、就職活動の時期やタイミングに慎重となっていることが考えられます。

そのような状況を踏まえて、各相談窓口の専門性向上を目的とした各種研修や事例検討、事業所訪問を定期的実施していますが、職業相談窓口の専門性向上や窓口職員の相談技法均一化に向けた取り組みを引き続き実施し、求職者の就職意欲喚起、求人応募の促進につながるよう取り組むことといたします。

## 2 特記事項

マッチングの実施を主体とした能動的マッチングについて、システムの使用方法を習得したうえでスムーズなシステム操作によるマッチングを可能とするよう当所で独自に作成した「積極的マッチングマニュアル～検索方法のポイント～」、「個々の求職者へのマッチング～検索方法のポイント～」を活用しました。短時間で精度の高いマッチングを行うため当マニュアルを整備したことにより、求職者との信頼関係の構築を促進した取り組みについて厚生労働省職業安定局から賞揚事項として取り上げられました。

### 3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	紹介率	生活保護受給 者等の就職率	ハローワーク紹介で 正社員に結び付い た就職氷河期世代 の不安定就労者・無 業者の件数	ハローワーク紹 介で正社員に 結び付いたフリ ーターの件数	マザーズ 担当者制 就職率	正社員 求人数	正社員就 職件数	生涯現役 支援窓口 での窓口
令和3年度実績	8,263	9,722	3,136	78.4%	79%	562	667	99%	34,471	4,316	378
過去3年度平均	9,567	11,155	3,831	87.0%	69%	620	764	97%	31,969	4,952	206
R2年度実績	8,424	9,851	3,658	83.5%	73%	620	764	99%	30,622	4,326	199
対 R2 比	98%	98%	85%	93%	107%	90%	87%	100%	112%	99%	189%
R1年度実績	9,528	11,177	3,933	86.2%	70%	—	—	105%	33,487	5,036	230
対 R1 比	86%	86%	79%	90%	112%	—	—	94%	102%	85%	164%
H30年度実績	10,750	12,437	3,903	90.1%	64%	—	—	87%	31,798	5,493	188
対 H30 比	76%	78%	80%	87%	123%	—	—	114%	108%	78%	201%

※ 令和3年9月以降の実績は、就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足件数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足件数の合計となっている。